



水門 義昭 議員

### 市の施設、残す？ 廃止する？

公共施設白書からの課題は

閩市の696施設の施設白書が公表された。財政面からしてもこれまでのような大規模改修や建て替えが困難であると分析されているが、施設白書からどのような課題があると捉えているのか。

国が求めている公共施設等総合管理計画は

閩国から早期に総合管理計画の策定を求められているが、策定期間は。答平成28年度までに各施設の費用対効果、現状、必要性などを分析評価し、「公共施設等総合管理計画」を策定する予定である。大規模改修や建て替えの予測費用は多額であり、公共サービスの真の必要性なども考慮している。

仮称・公共施設整備基金の必要性は

閩将来を見据え必要な施設の更新のためにも仮称・公共施設整備基金として準備していく必要性があるのではないか。答必要に応じて公共施設の整備基金の造成な

ど考えていきたい。

全市民が参画できる町づくり協議会の仕組みづくりは

閩町内未加入者への参画の働きかけは行政の役割が重要だと思いが。答行政は市民全体への啓発や関係団体の連携体制づくりを、協議会

は情報発信や魅力的な活動や参画しやすい仕組み作りを、町内会は加入の直接的な働きかけが主要な役割である。



町内要望に対する考え方は

閩町内要望に対する見直しは拙速に行わず、地域の理解を十分得てから行うべきでは。

答まちづくり協議会や町内会連絡協議会と何度も協議し、合意の上で進めてきている、今後も十分に検討を行い、随時改善を図り推進していく。



藤江 久子 議員

### 「高次脳機能障がい」って何？

高次脳機能障がいについて

閩高次脳機能障がいとは、病気や事故などで脳が損傷されたために言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに障害が起きた状態のこと。外見からは障がい程度を表すことが出来ないため「見えない障害」とも言われている。そのため「知ること」「相談すること」が大切だが、市の考えは。

答現在、市も広報活動に取り組んでいる。総合相談支援センターでも対応していく。



子育て環境の充実を  
閩子ども達の放課後の安全を図り、保護者には安心して働いていただく。また、企業が人材を確保するための学童保育と放課後児童デイは、今の、これからの高山市には無くてはならない絶対必要なサービス。そのために春休みや夏休みの学童保育をもっと利用しやすいよう拡充できないか。答検討していく。  
閩6年生までの拡充は。答児童の放課後の過ごし方は多様であるから、実施主体やあり方も含め、総合的に検討している。  
閩障がい児のニーズの把握は。答受け皿の量的な充実と、緊急時への対応だ

と考えている。

市の職員数と給与の関係について

閩来年度の新規採用は30名となっている。若い人が安定した職業につけることは地域の活性化や少子化への対策にもなり、大変喜ばしいが、市職員の給与（605万円）は、県内の類似市と比べ「人数が多く」「給与が高い」ことが問題。民間企業の男性正職員（407万円）とも大きな格差がある。これらは全て市民の税金であるが市長はどう思っているのか。答民間は市より勤続年数が10年短い（だから低い）。職員には民間より多い給与をもらっていることを自覚し、見合う仕事をするようお願いしていく。職員の給与が高いことは地域の景気対策にもつながっている。今後人事院勧告に従い、見直すつもりはない。